

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2024 1 Jan No.62

みんなの夢

2024年1月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人 名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



高齢者施設「グループホームめいほく」さくらの部屋のみなさんの作品です

謹んで新春をお祝い申し上げます

理事長 黒川 富子

皆様におかれましては、すこやかに新年をお迎えることとお喜び申し上げます。

そして、名北福祉会にご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

多くの人々の平和への願いに反し、ウクライナやガザでの惨劇が続いており早急に平和解決を望むばかりです。

昨年は、「みなみ町福祉センター」開所と平和福祉会との合併で高齢者事業所が増えました。また、重症心身障害者グループホーム2ヶ所目の「友の家ホームには」が開所しました。2024年4月には、児童発達支援・放課後等デイサービス2ヶ所目「のびっこ」の開所に向け準備をしています。

社会保障制度が自助・共助・公助とされ、さらに生活が苦しくなっています。

「権利としての社会福祉」を守り、実現にするためにとりくみをすすめていく所存です。

本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

第5次中長期計画進行中

(2022年6月～2027年5月)

第5次中長期計画がスタートして2年が経とうとしています。各部の主な取り組み状況を報告します。

障がい部

日中事業所では、事業所の枠を超えて、一人ひとりにあった活動の保障や、障がいの軽い方の労働保障（B型事業の立ち上げが課題）などの機能分化を目標としてスタートをきりました。

日中事業所では

今年4月から実施してきた、事業所同士の交流として、「オンライン職員交流会」を実施しました。授産活動各種・レク活動などを7つのグループに分かれて、月に1回程度、実施してきました。職員のみなさんにも好評で、悩んでいた



放課後等デイサービス・児童発達支援

『のびっこ』が開所します！

のびのびクラブが始まってから20年。様々なお子さんたちがずっと一緒に生活する中で、興味のあるあそび・過ごし方・体の大きさ：それぞれの違いが大きくなってきたいま

とirikみつつも、その子のペースでゆったり安心して過ごせられることを大切に

する中で、興味のあるあそび・過ごし方・体の大きさ：それぞれの違いが大きくなってきたいましたので、そこでのびのびクラブの隣に、令和6年4月より、未就学・小1・小2のお子さんを対象とした事業所『のびっこ』を新しく建設することとなりました。のびのびクラブと同じように、「あそび」と「生活」を軸にしているような活動に



だけでなく、保育園・地域との交流なども行っていく予定です。乳幼児期・学童期から青年期まで、またそれが以降も一人ひとりが大切にされ、主人公となるような場所を目指します。





るのは自分達だけではない、事業所を超えて何かできないか、ということ、新たに味畹いもの栽培（農業）、収穫したいもを使って「味畹いもプリン」や各種スイーツの製造（6次化）、清掃活動の具体化、アルミ缶活動の事業一本化（分場のリサイクルセンター化）、芸術活動の「習字教室」（安井の隣家）など、日中4事業所の取り組みがスタートしています。また2024年4月からは、茶食ほちぼちをB型としてスタートする予定で、利用者も募集中です。

暮らしの場では

今年度、念願の「友の家ホームにほ」（ホーム定員8名、短期入所2名）の開所をすることができました。8名の利用者が新たに自立した生活に向け、スタートしています。また、グループホームの形にとられない、新たな暮らしの場の検討を今後すすめます。

放課後等デイサービス・

児童発達支援では

のびのびクラブの2か所目である「のびっこ」（就学前の幼児・小学校低学年中心の事業）を、2024年4月からのスタート準備を進めています。法人が目指す、「ライフサイクルで途切れのない支援」ができるしくみづくりの一環です。法人内外の保育園から、成人期施設への架け橋として、大事な役割を担っていきます。こつした地域のみなさんのニーズや課題をうけとめながら、障がい部の人材不足の解消や、財政健全化もできていけるよう、引き続き努力してまいります。



保育園では、異年齢保育を行っています。

子どもたち同士お互いを認めあい育ち合うことを大切にしたい保育の実践を積みあげていきます。

暮らしの主人公は

子どもたち

14時半過ぎお昼寝している乳児の子達に「そろそろ起きようよ。」と保育士が声を掛けてみると早めに起きた幼児が「おきて おきて うつききー」と楽しいリズムにのせながらまだ寝ている友達に声を掛けてく



れます。その明るい声にまだ眠くて不機嫌そうだった子どもたちも思わず笑顔になり、別の子どもも一緒に「うつききー」と真似つこをたのしみだしました。大人が生活リズムを考え起こそうという声掛けより、友だちの楽しい言葉でまた子どもは日々の暮らしを共につくっている主人公と言う視点で保育を楽しく、豊かな保育づくりに取り組みます。

保護者とともに

「共育ち」を大切に

コロナ禍があげ、父母と共にする活動が増えてきました。なえしる保育園の「なえカフェ」、やだ保育園の父母会ちびっこまつり、めいほく保育園ではミニバザーや「お能ってなくに？」はじめての能を楽しみました。父母と共に作り上げる過程の中でつながりづくりを大事に「共育ち」の関係をふとらせていきたいと思えます。



10年前の第3次中长期計画からの念願だった、「グループホームめいほく」小規模多機能型事業所「めいほくの家」が紆余曲折を経て2023年4月に開所しました。今後は地域とつながりながら、法人理念、介護観が共有できる職員集団づくりが鍵になります。



す。当初計画に無かった、平和福祉会との合併があり、新たに「デイサービスへいわ」が加わり、連携しながら進めているところで

す。職員採用とデイサービスを含めた運営の安定も課題となります。



1. 法人組織の運営強化
 2. 法人の人材育成、定着にむけたとりくみ
 3. 安定した財政基盤
 4. 戦略マップ、スコアカードでの実現
- ・組織強化としては、法人理念の浸透など人材育成に取り組んでいます。主体的能動的なかわりができるようなとりくみをす



すめていきます。財政については、建設積立金の支出により積立金確保が必須です。各施設の運営を安定させ目標を成させていきます。

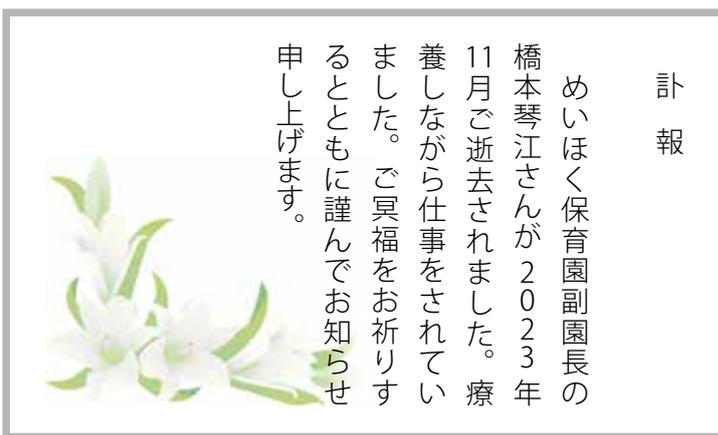
ヘルパーステーションそら、相談支援センターめいほく、ケアプラン町南

地域生活部では、地域福祉・在宅生活を支えていくことです。重点項目は、ヘルパー人員確保、体制強化、財務安定、業務改善です。登録ヘルパー数は、現在108名。毎月の稼働者は81名です。ヘルパー養成研修は、応募者数が少数のため開催延期です。財務収支

は、その2年間の赤字が、今年度は小幅黒字見込みです。ICT活用により報告・連絡・情報共有が大きく改善し、ヘルパー記録も携帯入力に変更。業務のデジタル化により実務時間の軽減できました。今後相談支援事業においてタブレット導入ほか改善努力していきます。

計報

めいほく保育園副園長の橋本琴江さんが2023年11月ご逝去されました。療養しながら仕事をされました。ご冥福をお祈りするとともに謹んでお知らせ申し上げます。



「介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善」を求める請願署名

昨年末「介護報酬を1.59%引き上げる」というニュースが流れました。介護職員の賃上げを目的としたものですが、それでも他産業に比べて低い給与水準となっています。また、介護報酬が上がるという事は介護保険サービスの利用料が上がるという事になります。職員の賃金が改善されても、利用者の負担が増え、必要なサービスを使うことができなければ本末転倒になってしまいます。

この署名では 1. 社会保障費の拡充 2. 保険給付対象の維持 3. 利用料の軽減などの対策を講じた上での介護報酬の引き上げ 4. 全額公費により介護従事者の給与を全産業平均まで引き上げると共に、人員配置基準の引き上げを国に請願するものとなっています。

必要なサービスを必要とする方が利用できる社会を実現する為に、署名への協力をよろしくお願い致します。

きょうされん 第47次 国会請願署名・募金運動全国キャンペーン

日本が、2014年に批准した障害者権利条約にもとづいて、国連障害者権利委員会による日本の障害者施策の審査が2022年8月に行なわれ、同年9月に総括所見(勧告)が出されました。

その内容は日本の障害者施策がパターンリズム(父権主義)によるもので、障害のある人の人権が尊重されていないという厳しいものでした。

障害者権利条約が求める「他の者との平等」を実現するために、優生思想の克服や障害福祉予算をOECD諸国の平均並みに増大することなどを日本政府は責任をもって進めるべきです。

今、障害のある人の生活や事業所運営は、収束を見ない新型コロナウイルスやかつてない物価高によって、ますます厳しくなっています。

障害のある人の人権が守られ、安心した生活が送れる制度や施策を求めていきます。

保育の請願署名ありがとうございました。

「こどものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育基準・施策の抜本的改善を求める」請願署名をすすめています。

12月11日の「こども未来戦略」(案) について、4・5歳児の配置基準が保育士1人当たり子ども人数を30人から25人に、3歳児も20人から15人に「加算」でなく最低基準を改正が盛り込まれ、みんなの声で76年ぶりの法令改正!! です。



きょうされん全国大会

きょうされん全国大会は、全国の障害のある人・家族・関係者が一同に集まって、各地の経験に学び交流を深める場として毎年開催されています。
2023年の第46回大会は埼玉県（さいたま市大宮区）で開催されました。

基調講演を聴いて

めいほく鳩岡の家 向川 郡司

めいほくに入り初めての二日間に渡る大会に参加させて頂きました。1日目の基調報告では、専務理事の藤井さんによる報告。その中でも障害者雇用率ビジネスの話はとても悲観の気持ちになった。企業の業務とはかけ離れた、本人達のやりがいにも繋がらない作業をさせる企業。「高い給料を与えているんだから良いだろ」「雇用率を満たしているのだから文句



ないだろ」等、ぞんざいに仲間達に関わる企業も数多いと知りまし

た。目の前の福祉とは遠くかけ離れた社会情勢の中の福祉についても今後は目をやっつけていかなければと強く感じました。

きょうされん大会に参加して

めいほく共同作業所

西本 晶子

きょうされん大会初参加だったので期待と緊張が混じった気持ちで当日を迎えました。

2日目の分科会では「精神障害」を選択し、日本の精神医療の現実や共同創造についてお話を伺いました。日本の遅れている精神医療、強制入院・身体拘束・虐待をなくしたい反面、そうせざるを得ない今の医療体制やサポート体制の不十分さが浮き彫りになっていました。

障害当事者の方やピアサポーター（同じ障害を持つ支える人の生の声を聞き、障害のある人もない人も共に歩み、創っていくことの大切さ・必要性を改めて学びました。



第55回全国保育園団体合同研究集会

in磐梯熱海

「みんなでつなぐ・つながる合研」

2023年7月29日～31日福島県で開催されました。1200名が集まる会場から、ハイブリット形式で行われ、全国で7000人を超える参加者と学びあいました。今回は久しぶりに現地参加者を送り出すことができました。

現地参加の充実

やだ保育園 杉本 真菜

私の中では今回の福島合研が2回目の参加でした。去年の高知合研はオンライン参加だったため、会場の雰囲気やわからないまま終わってしまいました。しかし、今年には現地参加できたことにより、保育に関わる人たちの生き生きとした姿を見ることができ、保育が大好きでよりよい保育をしたいという素敵な思いを持った人たちの集まりだということを、身をもって

感じることができました。当日は講座だけでなく、いろいろな企画も行われており、現地に行ったからこそその雰囲気や熱量を感じる事ができました。また、講座内でグループワークがあり、保育者の生の声が聞けることで、共感できる部分や同じような思いも含めより学びを吸収できました。これまで様々な人たちで紡いできた合研の伝統をこれからも絶やすことなく、私も一員として受け継いでいきたいです。

研究集会に参加して

めいほく保育園 清原 歩

現地の合研に参加してみても、初めは不安でしたが、現地の人たちの温かさに触れたり、同じ保育者として働く仲間と日々の保育の楽しさや難しさを共有したりすることで楽しみながら参加することができました。私が参加した中で最も印象に残っている講座は「ゼロ・1・2歳とつくる心地よい生活」という講座です。この講座で、「子ども主体」を実現することの大切さを学ぶことができました。子どもの姿に合わせて計画を変更したり、保育のエピソードを



記録したり、保育者同士が子どもの姿を語り合い、安心できる雰囲気の中で保育することが大切だと学ぶことができました。学んだことを活かしてこれから保育を行うとき、担任間での共有を大切にしながら保育をしていけるよう努力していきたいと思いました。

合研に参加して

なえしる保育園 太田 菜々子

私は、今回初めて合研に現場で参加させていただきました。日々保育している中で、かわいいな、楽しいな、苦しいな、これであっているのかな、と本当に複雑な思いが毎日頭の中をめぐります。

そんな時に熱い思いの方たちに囲まれ、歌って踊って語って。パッと心が晴れました。

思う存分学んで語り、改めて語り合うことの大切さや保育の楽しさに気付くことができました。熱気あふれる3日間、心強い仲間たちと出会い、過ごせて本当によかったです。

人材育成部の取り組み

法人独自の研修カリキュラム・研修制度を豊かにしていきたいと管理職はじめ主任、ステップⅠ、Ⅱ、Ⅲ、新任職員研修会、新任職員フォローアップ、全職員研修などに取り組んでいます。

ステップⅡ研修

ステップⅡ研修は、4年目以上7年未満の職員を対象に、「福祉会の理念を自らに引き寄せて捉え直し、職場での自分の役割を考え、整理すること」をねらいに実施しました。17名の参加で3グループに分け、討論を行いました。『茶食ぼちぼち』での墳原さんや『グループホームめいほく』での光岡さんの話を聞き、利用者さんが「施設で暮らすのではなく地域のことで暮らす一人」として尊重されることに大切さを感じ、自分達に何ができるかを主体的に討議しま

した。同じ経験年数の3分野が討議交流できたことで、今後の活力につながったという声もあがりました。

研修に参加して

第二めいほく保育園 後藤 美月

グループホームめいほく、めいほくの家のことを知ることができよかったです。大切にしている点で地域とのつながりを大事にしていることを話されていたことが印象的でした。町内会とのつながりを大切にして、災害時にはお互いの関係を築くことができるようにして助け合えるといいなとお

もっているという思いを聞いて素敵だなと感じました。また、茶食ぼちぼちのように自由に集うことのできる場がもっと増えていくとよりよい社会になっていくと感じました。

全職員研修

「平和こそ最大の社会福祉」 9月15日に開催

講師を石川康宏先生（神戸女学院大学名誉教授）にお願いし、オンラインで開催しました。

震災から10年以上たっても、原発事故により復興できない地域があり、沖縄はじめ愛知でも軍需産業があり、粛々と軍事化が進んでいる一方で、市民生活や福祉に使われるべき税金が、軍拡に使われており他国と比較しても、社会保障や市民生活にかける予算が少ないこと、また東南アジアではASEAN諸国による、対話による平和外交が長年行われ、そこに大国を巻き込むうとしている動きや対話による平和外交の可能性

や重要さについて多くの共感を集めた研修会となりました。研修の感想から

○軍事費が年々増え続け、この5年間で43兆円に膨らんでいる。私たちが生活を切り詰めたながら払っている税金などのお金も軍拡に使われていることには怒りを感じた。

○福祉労働者として、平和であるために軍拡の政治でなく、外交での政治にしていきたいと私達の労働や現場も変わらないと実感しました。

社会福祉法人 名北福祉会 オンライン全職員研修
正統・契約・パート どの職員さんでも対象です
日本を戦争する国にしてよいのでしょうか 福祉の源泉は平和です。

平和こそ最大の社会福祉

私たちのくらしを守るために平和の問題から考えよう

講師 石川康宏氏（神戸女学院大学 名誉教授）
日時 2023年9月15日（金）18:30スタート（20:30終了予定）
方法 オンライン方式で行います。
各園・事業所の拠点よりご参加ください。詳細は後日お知らせいたします。
職員会議等と同様の位置づけで、勤務扱いとします。

社会福祉法人名北福祉会
お問合わせ先 社会福祉法人名北福祉会 本部 052-910-3066(担当 佐藤)
e-mail meihoku_honbu@train.ocn.ne.jp

新任職員 フオローアップ研修

入職から半年が経過し、それぞれの職場で働く中での悩みや思いを交流し、励まし合い、横のつながりを広げていくなどを目的に①私の「キラリ☆ハット」「体験・経験から学んだこと」を報告②法人理念と私たちの仕事の結びつき(各分野の権利条約から学びなど)③グループワークを行いました。他分野の話からも共感できることが多かった。どの分野も相手の立場にたつてよりそっていくことで信頼関係がつけられているなどの感想がありました。

研修会に参加して

めいほくの家 若山悦子

今回の研修を受け、人権、尊厳の大切さを改めて感じました。日々の業務の中で一日に行わなければならないいけない業務と利用者様に対して行いたい支援との温度差の中勤



務していました。今回の研修で他分野の方の話を聞き、同じ思いや気付けられ点があり、利用者様のそのまま、ありのままを受け入れ、持つべき力を生かした支援をしていきたいと思えました。又、その支援には共に働く仲間が必要不可欠です。仲間と共に先の未来へ切磋琢磨しより良い支援を目指したいと思えます。

不登校の子どもたちの居場所「ぱれっと」

今年の5月から、東町交流センターで「東風の会」(ボランティアさんの会)たちで毎週木曜日10:00~15:00で、開催しています。いつ来ても、いつ帰ってもいい。今では、小学校2年生から中学生までの5人の子どもたちと、10人弱の元気なボランティアさんが登録しています。ゲームをしたり、ダンスを

したり、外へ体を動かかしに行ったり、本を読んだり。みんなマイペースに思い思いのんびり過ごしています。毎回の美味しい手作り昼食や、誕生日会も魅力です。もつともつと地域に浸透して、たくさんの子どもたちの安心できる場になっていきたいです。

わたしとほくの居場所
あそびのボランティアさん募集

ぱれっと

学校に行きたくない・行かない
子どもたち(小・中・高生)の居場所

毎週木曜日開催
10時~15時

2023年5月18日10時スタート

おいしいお昼ごはんを
食べようね(任意だよ)

勉強でも
あそびでも
何をしてても
いいよ!
いつ来ても
いつ帰ってもいい
楽しい企画も
Wi-Fiもあるよ!

上野田駅から徒歩10分

東風の会
【社会福祉法人東郷社
により運営されています】
所在地 / 名古屋市北区上野田東町1-18-1
対応曜日 / 木曜日
開所時間 / 10:00 ~ 15:00
料金 / 無料(昼食の場合300円程度)
お申込み・お問い合わせ 役所まで
052-910-3066

この事業は、名古屋市社会福祉協議会「不登校の子どもたち支援事業」より、助成を受けて実施しています。

地域にむけたとりくみ

各分野、各施設が地域にむけた取り組みを行っています。名北福祉会のことを地域の中で知っていただき、楽しいとりくみを通じてつながりを広げていきます。

めいほく ふれあいまつり 9月23日(土)

第2回めいほくふれあいまつりは、友の家まつりと合同で行いました。保育部・障がい部・高齢部の施設長や職員が集まり、作業体験コーナーやお菓子釣りなど様々な企画を行いました。スタンプラリー式の作業体験では、来て下さった子どもさんや学生さんは数



種類の体験を行い、笑顔や真剣な眼差しで楽しまれていました。今後も続けていくことで地域の障害のあるお子さんと繋がり、名北福祉会を知ってもらえると思っています。

友の家 まつり

9月23日(土)

コロナ禍で中止されていた友の家まつりを4年ぶりに開催しました。規模を縮小しての開催となりましたがキッチンカーを呼び、仲間の作品展やポッチャ体験コーナー、スーパーボールすくい、輪投げなど盛りだくさんの企画で行うことができました。地域へチラシを配布したことで、地域の方も来てくれました。久しぶりの開催に仲間・ご家族・職員、みんな緊張していましたが、開会式で音楽活動の仲間たちの演奏が始まると、たくさん笑顔に緊張感が一気になくなりました。友の家まつりの振り返りでは、開催できた満足感と来年度に向けた思いが仲間・ご家族・職員からたくさん出



されました。来年はもっと楽しい友の家まつりにしていきます。

焼き芋 交流会 11月25日(土)

11月最終の土曜日、めいほく保育園の隣の上飯田南公園で、焼き芋交流会を行いました。コロナ禍地域の方が集う取り組みは、感染



予防でほとんどできなくなりましたが、感染が下火だった3年前の秋、やっぱり人が集う機会は大事と、公園での焼き芋会を始めたのがきっかけで、今年で3回目になります。5丁目町内会の回覧にも入れていただき、恒例のお楽しみ行事となってきました。今年 はみなみ町福祉センターもオープンし、ふらつとるーむもお芋を食べる休憩場所にしましたが、天気にも恵まれ、公園内が大盛況。めいほく保育園や高齢関係のフリーマーケットの出店もあり、地域の方に加え、グループホームの利用者さんや障害部の仲間も参加。焼き手はOBの方が中心になり、炭火



11月17日に北区・そよら上飯田(イオン) 2階でウエルフェア

ウエルフェア そよら に出店 11月17日(金)

で焼きあがったアツアツのお芋をほおばるたくさんの方々の笑顔に包まれた焼き芋交流会でした。

そよらが開かれました。上飯田のみるみるさんとめいほく共同作業所・めいほく鳩岡の家など、そよらとのコラボで障害事業所製品の出張販売をする企画が今年度からスタート。この日は拡大版のウエルフェアそよらでいつもより参加事業所も増え、あじま芋のスイーツコレクションが並んだり、落語を聞くイベントもあつたりして、いつも以上のお客さんで賑わった一日になりました。

茶食 ぼちぼち まつり 10月28日(土)

移転して広くなった「カフェ茶食ぼちぼち」では、「茶食ぼちぼちまつり」を開催、50名の参加がありました。常連のお客さんの水彩画やえんぴつ画、切り絵、編み物、めいほくの家の利用者の方た



ちのちぎり絵などを展示しました。また、「茶食ぼちぼち」で行われている切り絵、麻雀教室、歌声喫茶、認知症カフェの方から取り組みを紹介をしていただきました。今後とも気軽に立ち寄っていただける地域の集う場所をめざしていきたいと思えます。

障がいのある子どもたちの事業開設のために 寄付のご協力をお願いします



2か所目の放課後等デイサービス・児童発達支援

「のびっこ」

2024年4月よりスタートします。

就学前と小学校低学年の子どもたちのための保育園に通う子どもたち、みんなの安心できる事業所です。

利用者・職員も募集中です！

今回の建設は、すべて自己資金で行うため、みなさまからのご支援・ご協力をお願いいたします。

ご寄付の振込先

●三菱UFJ銀行 上飯田支店

(普) 0437548 社会福祉法人名北福祉会

●ゆうちょ銀行

00850 - 8 - 185387

社会福祉法人名北福祉会

* 1口1000円からお願いいたします。
寄付による税控除対象団体です。

**名北福祉会では
各事業所で
正規職員を
募集しています
ぜひご応募ください**

◆募集業種

保育士・生活支援員等・介護支援専門員（ケアマネージャー）

◇応募から採用まで

①書類選考 ②実習・実地体験 ③レポート提出 ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当 TEL052-910-3066

名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会費 正会員 1ヶ月 1口 500円 (5口以上)

賛助会員 1ヶ年 1口 1000円

団体会員 1ヶ年 1口 5000円

〈振込先〉

郵便振替口座

加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会

口座番号 00860-8-127322

カフェ茶食 ぼちぼち

地域の中で“みんなが集う場所”として茶食ぼちぼちをよろしくお願いいたします。
みなさんのお越しをお待ちしています。

〈営業日・時間〉

月曜日～金曜日⇒7:30～16:30 モーニング (7:30～11:00)

土曜日・祝日⇒8:30～15:30 モーニング (8:30～11:00)

ランチ月曜日から土曜日・祝日⇒(11:30～14:00)

*金曜日夜の居酒屋ぼちぼち、麻雀や歌声喫茶、認知症カフェなどもやっています。

場所：みなみ町福祉センター1階 電話：052-911-5188

